

第60回特別ゼミナールプログラム

基礎知識・技能修得コース

会場：北里大学薬学部1号館 1401 教室

1日目 --- 9月24日(土)

- 9:15~10:30 「採血から薬物濃度測定までの留意点」
講師：小杉隆祥先生（東邦大学医療センター大森病院薬剤部）
- 10:45~12:00 「患者のPK解析・投与設計の留意点」
講師：篠崎公一先生（北里大学薬学部）
- 12:00~13:00 昼休み
- 13:00~14:15 「母集団PK解析アップデート」
講師：平岡聖樹先生
- 14:30~15:45 「PK, PD および TDM に基づく喘息治療管理」
講師：渋谷正則先生（ふれあい平塚ホスピタル薬剤科）
- 16:00~17:15 「てんかん治療とヒダントイン系抗てんかん薬の TDM」
講師：高尾良洋先生（横浜市立横浜市民病院薬剤部）

2日目 --- 9月25日(日)

- 9:15~10:30 「抗てんかん薬の TDM : アップデート」
講師：喜古康博先生（藤沢市民病院薬局）
- 10:45~12:00 「母集団 PK-PD 解析アップデート」
講師：鈴木昭之先生
(ファイザー株式会社クリニカルファーマコロジー部)
- 12:00~13:00 昼休み
- 13:00~14:15 「アミノグリコシドおよびその他の抗菌薬の TDM」
講師：篠崎公一先生（北里大学薬学部）
- 14:30~15:45 「グリコペプチド系抗生物質の TDM」
講師：西圭史先生（杏林大学医学部付属病院薬剤部）
- 16:00~17:15 「臓器移植における免疫抑制薬の TDM : アップデート」
講師：小林昌宏先生（北里大学病院薬剤部）

臨床活用コース I

9 月 24 日(土) 9:15~17:15★

会場：北里大学薬学部 1 号館 1402 教室

テーマ：「薬剤師が薬物治療に積極的にかかわるうえでの TDM の役割」

- 9:15~11:15 PKの基礎：クリアランスの変動要因と演習
花田 和彦先生（明治薬科大学）
- 11:25~12:25 PK情報をいかに患者に適応するか1
川名 純一先生（明治薬科大学）
- 12:25~13:15 昼休み
- 13:15~13:55 PK情報をいかに患者に適応するか2
川名 純一先生（明治薬科大学）
- 13:55~14:55 薬物動態の観点から考えるがんの薬物療法
平岡 知子先生（癌研有明病院・薬剤部）
- 15:00~16:00 薬物動態学的視点から考える深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症に対する
非ビタミンK拮抗経口抗凝固薬 (NOAC) の使い分け
内田 仁樹先生（横浜総合病院・薬剤科）
- 16:05~17:05 薬物動態情報を正しく理解して、感染症の薬物治療と
治療薬物モニタリングを実践する
栃倉 尚広先生（日本大学医学部附属板橋病院・薬剤部）
- 17:05~17:15 (10分) まとめ
★時間内で適宜休憩をとります。

臨床活用コース II

9 月 25 日(日) 9:15~17:15★

会場：北里大学薬学部 1 号館 1402 教室

テーマ：「良質な薬物治療を実践および提供するためにPK-PDを理解する」

講師：辻 泰弘先生（富山大学薬学部医療薬学）

本コース参加者は、Excel2003-2016 のいずれかが動作する WindowsOS の PC を持参して下さい。